

*** ** *
令和5年度は集合型で開催します！

認知症支援のための

事例検討会



事例を通して
阿倍野区の社会資源を多職種で
ふり返る



- [日時] 令和5年7月1日(土) 14:00~15:30
- [会場] 阿倍野区役所(大会議室)
- [講師] 沖田 裕子氏
(NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター代表)
- [対象] 阿倍野区内の医師・歯科医師・薬剤師、地域関係者(民生委員・地域役員など)、介護支援専門員、介護保険サービス関係者、関心のある専門職
- [内容] コロナ禍で認知症が進んだ昼間独居の高齢者支援について、どのような社会資源が必要なのかを、多職種で考える。

主催：阿倍野区認知症強化型地域包括支援センター(あべのオレンジチーム)

共催：阿倍野区在宅医療・介護連携推進会議

…(阿倍野区北部・阿倍野区中部・阿倍野区)地域包括支援センター
昭和ランチ、あべのあいあいねっと、阿倍野区保健福祉センター
阿倍野区社会福祉協議会

お問い合わせ

TEL

6628-1300 (阿倍野区認知症強化型
地域包括支援センター中川・大石)

(申込詳細は裏面をご覧ください)

*** ** *

令和5年7月1日実施
「認知症支援のための事例検討会」のアンケート結果について

令和5年7月1日(土)阿倍野区役所2階大会議室にて、3年ぶりの集合型事例検討会、グループワークを開催しました。コロナウィルス感染症は、2類から5類にはなりましたが、現場ではまだ感染対策の緊張感をぬぐえない中、56名の参加を頂き感謝申し上げます。

医療・介護・福祉の様々な機関からの参加をいただき、グループワークでは、いろんな立場で意見が交わされました。

今回は、就労されている家族が認知症の親の介護をされているケースを事例検討しました。

グループワークのテーマは、

- ① 道に迷ってしまった場合にどのような社会資源があるのか、あったらいいと思う社会資源は？
- ② 就労している家族に対して、どのような社会資源があるのか、あったらいいと思う社会資源は？
について話合いました。

就労されている介護者の相談の中でも、直接離職などの相談は受けることは少ないようですが、今、相談はなくとも離職するかどうか悩みながら就労する介護者は多いと思われます。その問題の相談先がどこなのかが、結びついていないのかもしれないかもしれません。それを踏まえて、今後の家族支援の在り方を考えていきたいと思えます。

参加して「あらためて社会資源を知った」、「あったらいい社会資源については面白い意見などあって共感した」「顔を合わせてグループワークに参加でき良かった」などの声は、自分自身をエンパワメントでき、制度利用だけでなく認知症の方への幅広い社会資源を作るきっかけになったと思います。

今年度は、「あべの認知症ケアパス」(認知症支援の手引き)の更新を行っていきます。まずは支援者の方が、認知症の方への支援に活用しやすいケアパスを目指していきます。みなさまからの、貴重なご意見をお待ちしています。

スーパーバイザー—沖田先生からのコメント

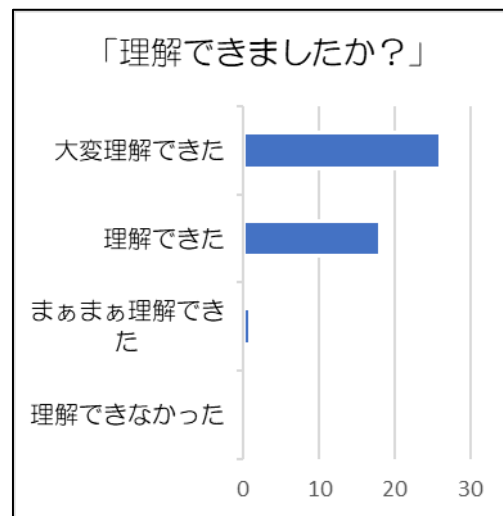
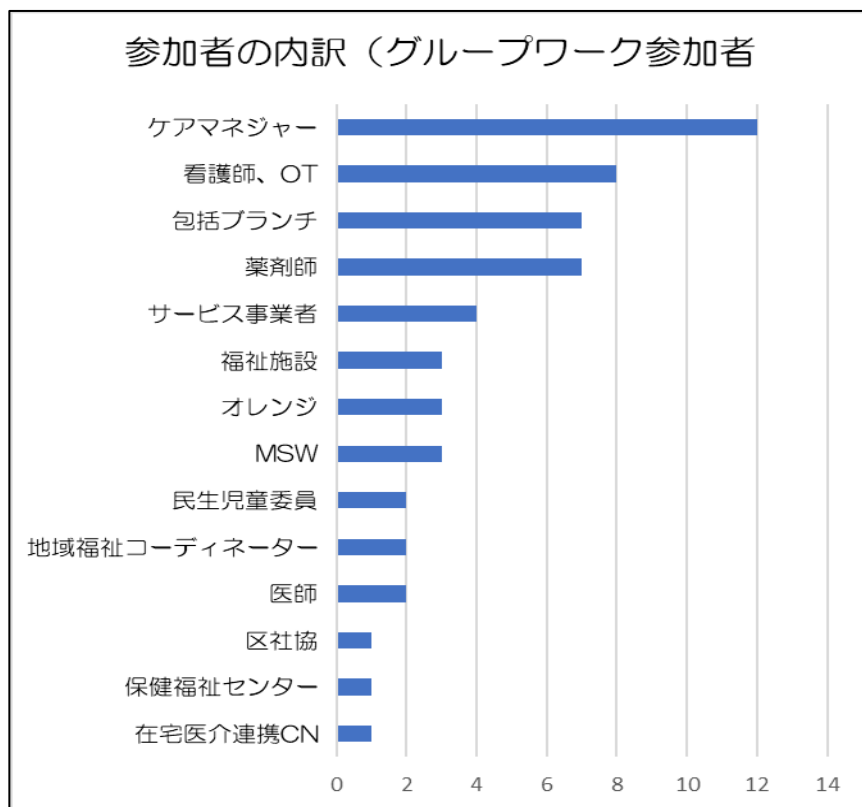
皆さんとお会いして研修できてよかったです。

グループワークの時間が足りないと思われるほど、熱心にたくさんの意見を出していただきありがとうございます。

社会資源について、知らなかった方にも知っていただける機会になり良かったです。

団塊ジュニアが介護者になっているこれから、働いている家族が、働きつづけられるためには・・・という今回のテーマは、これからも一緒に考えていきましょう。

認知症支援のための事例検討会(令和5年7月1日開催：アンケート集計)

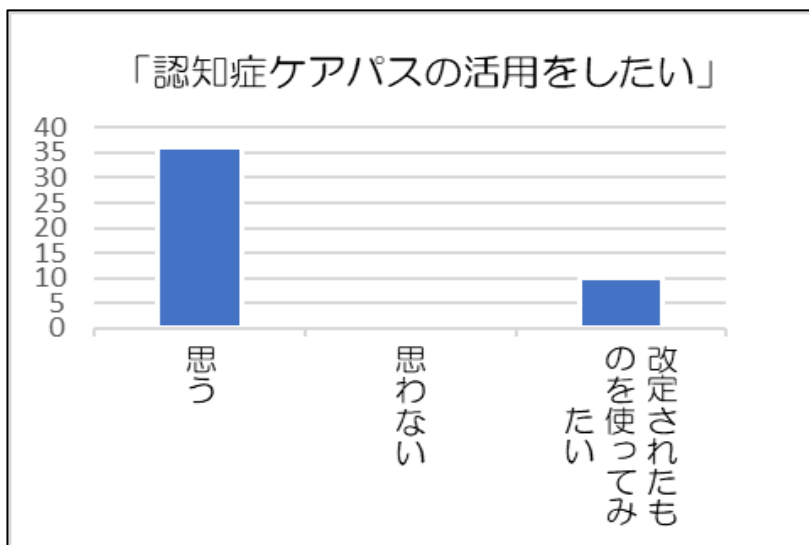


本日のテーマ「就労する介護者の相談」「介護離職」の相談を受けることがありますか？ どんな内容ですか？
体は元気な認知症の方への対応
数回相談窓口が仕事を休んで行く必要がある。(空いている時間) 土日祝日も相談できたらいい
相談可能な時間的な問題、突発的な問題と職場の理解
相談として離職に悩んでいると受けたことはない
日中閉じこもっているので、集いの場においてほしい
離職はターミナル期のご家族様の介護のためだったが、離職はダメ、介護休暇をとる指導した
友人から最近もの忘れが多いので認知症の相談を受けた
介護者が休めない、長い時間残業できない・テレワークが終わり出社となる・サービス増で金銭的負担
診療の場での相談はあまりない
仕事はしたいが、親を預ける先がない(病状と認知症状で会うところが見つからない) 相談
就労するには日中の支援をどうしたらいいか
介護認定の方法をよく聞かれる
自営なので離職まではいかないが、高齢の方のお世話でお手上げ状態の相談
日中独居になる方の相談。デイ、デイケア、ショートステイなどすすめている。小規模多機能紹介
仕事が休めない、利用料がかかり、出す余裕がない

息子は結婚予定の女性がいる、結婚に影響しないよう親を入所させたい。本人は診断を受けても仕事を続けたい

別居の一人暮らしの方の相談がありました。

相談はまだありません



本日のテーマ「社会資源についてのご意見や、事例検討会への感想・講師の先生へ質問などあれば、自由に記入ください。

地域の特性について知ることができてよかった

社会資源を多くし、様々な種類が必要と感じた。

ある資源についてはたくさんの資源があると再認識できた。ない資源は皆で面白い案が聞けてよかった。

グループワークはもう少し時間に余裕があればいいなとファシリ的には思いました

いろんな意見を聞け、これからの認知症の方への家族の方へのサポートに役立てたいと思います。

今回の参加で阿倍野区の認知症支援の体制がどんなものがあるか情報が聞けて今後に活かしていけそうです

活用していきたい

本日の事例は支援者であれば皆経験のあるような事例でいろんな意見が聞けて良かった

多職種の方の話が聞け、情報共有で勉強になった

社会資源（お店やタクシー）一冊にまとめられた阿倍野区バージョンがあれば説明や紹介しやすいです。他区にあります。

検討会を通じて思っている以上に社会資源が少ないとわかった

阿倍野区の社旗資源をあべの区ならではのがあれば知りたいです。お話が聞けて良かった。

知らなかった社会資源が知ることができてよかった。あったらいいと思える意見に共感できることがたくさんあった

自分が知らなかった資源があったり、あったほうがいいと思う資源の発想も色々聞けてよかった

知らないことが多く、非常に勉強になった。
安心感、認められる雰囲気の中で進行していただき参加しやすかった。
「あればいいな」を、検討することは良かった。ポストイットで書いて意見を発表したのでまんべんなく聞けた。
参加してよかった。顔尾を合わせてグループワークできて有意義な時間だった
参加してよかった。今後の活動に活かしたい
事例がイメージしやすく検討しやすかった。課題もテーマも絞ってありわかりやすかった
(あったらいい資源) GPS つき水筒、など良い意見であったと思う。
見守りメールの登録方法を知りたい。
理想は出たがなかなか実現は難しいかと感じた
物とられ、被害妄想、若年性の前頭葉型の対応
就労しながら認知症の家族のケアを行ううえで様々な社会資源が既にあることを知りました。今後お困りの際はお伝えしたいと思います。